



—東地中海地域ニュース—

トルコ：エルドアン首相の訪米

(12月7～9日付現地報道)

7日～9日付現地各紙は、訪米したエルドアン首相とオバマ米大統領の会談（12月7日）およびその後の共同記者会見における両首脳の発言などについて報じている。概要は次の通り。

1. トルコ・米国関係

両首脳は、相互防衛は NATO 同盟国である両国の義務であることを確認した。オバマ米大統領は共同記者会見で、「トルコは法の支配を尊重する世俗的民主主義国家としての歴史を持ち、イスラム国家でもあることを鑑みるに、隣国のみならず世界の国々と相互理解、安定と平和を確立することに寄与する重要な役割を担っている」と述べた。

2. イラン核問題

(1) オバマ大統領の発言

- ① イランが平和的な核エネルギーを利用でき、他方で国際規範に従う保証がなされる方法でイランの核開発能力を認めることが重要である。
- ② 自分は、イランがこの方向に進むべく、トルコが重要なプレーヤーとなると確信している。

(2) エルドアン首相の発言

- ① イランが民主的かつ平和目的で自国の核能力を向上したいと考える限り、我々はこの要求に否定的なアプローチをするべきではない。
- ② （イランの核プログラムが大量破壊兵器製造目的であっても）これらの問題は外交手段を通じて解決できるだけである。
- ③ 我々は、周辺地域の国が核兵器を保有することを認めたいとは思わず、核兵器を保有する周辺諸国は放棄すべきである。
- ④ トルコは、交渉役でも仲介役でも務めることができる。オバマ大統領と共有した情報はこれだけである。

3. アフガニスタン

(1) オバマ大統領の発言

- ① （トルコの顕著な貢献を称賛した上で）トルコの関与は、アフガニスタンの安定に寄与してきた。

## (2) エルドアン首相の発言

- ① トルコ国軍は、3 度にわたりアフガニスタンにおける司令を務めており、2 カ月前に追加派兵をしている。トルコは既に必要な数の兵員を派遣してきた。今後は、トルコ国軍およびトルコ警察によるアフガニスタン軍・警察の訓練や保健・医療・教育、インフラ整備プロジェクトを推し進めるつもりである。
- ② トルコは、2 個大隊のアフガニスタン軍を訓練する予定であり、また、5,000 万ドルの経済復興支援を実施する予定である。

## 4. イラク

### (1) オバマ大統領の発言

- ① 我々は、イラクが独立と繁栄を達成するべく支援するための、我々の役割について話し合った。
- ② (キルクーク問題について) クルド人住民の思いは、イラク中央政府にて効果的に主張されるべきである。クルド人住民は、キルクーク問題のような事案を解決するには、政治的手段を用いた方がよいことを理解するであろうし、このような解決が全当事者の利益となる。

### (2) エルドアン首相の発言

- ① 来年は米軍のイラク撤退があるため、米国と緊密に協調していく必要がある。

## 5. PKK 問題

### (1) オバマ大統領の発言

- ① 我々が話し合ったことは、PKK 問題への対処の際に、両国が緊密に協調することである。これまで述べているように、米国は PKK をテロ組織と考えており、その脅威はトルコのみならずイラクにおいても深刻な懸案事項である。
- ② トルコのクルド人社会を含めたエルドアン首相の対応措置は非常に有益と考える。テロは軍事作戦だけで対処できるものでなく、社会的、政治的要素も認識されるべきだからである。

## 6. 両国経済関係

両首脳は、トルコ・米国双方から 2 名ずつの閣僚で構成する経済委員会の設立を合意した。これは、本年 4 月にオバマ大統領がトルコを訪問した際に提案したもので、トルコ側はハバジャン副首相およびチャーラヤン国務大臣、米国側はカーク通商代表部代表およびロック商務長官の下で組織されることとなった。